

# コロナで困ったときの相談相手は やっぱり 佐々木とも子さん

## 困った時に頭に浮かぶ人

休業補償のことでスナックのママから相談があった時、佐々木さんの顔がぱっと浮かびました。すぐ動いてくれました（タクシー運転手の原口さん）

## 家賃値上げが止まって安心

佐々木さんと団地のみなさんの運動で、家賃減額が延長され、ずっと住めるようになって安心しました（藤の台団地在住の大葉さん）

## 一緒に市役所に行ってくれた

コロナ禍で体調を崩して入院し仕事をやめざるを得なくなってしまい、家賃も払えなくなるかもしれないと佐々木さんに相談しました。一緒に市役所に行って生活保護の申請を手伝ってもらって本当に助かりました（Kさん）

## 市民のみなさんからの相談を出発点に、 ワクチン予約代行の窓口ができました。

最初のワクチン接種の予約時「電話をかけても通じない。ネットもできないしどうしたらいいか?」と相談が相次ぎました。スムーズに予約できる体制整備を市に求めると、市民ホールに予約代行窓口ができました。

障がい者施設での定期的PCR検査も、家賃補助第4弾、飲食店デリバリーサービス補助も、みなさんの声を市議会に届け実現しました。

困っていたご近所さんにも「窓口ができた」って話をしたら、すごく喜ばれました（山崎団地在住の石井さん）



# 私の決意 佐々木とも子

## 困っている人に寄り添い、誰ひとり取り残さない

5期20年、みなさんの声を市政に届けてきました。父親の介護を通して、医療や介護が高齢者の生活を支えるうえでいかに重要であり、だれもが住み慣れたところで安心して暮らせるための仕組みづくりこそ、町田市の責任だと実感しています。

コロナ禍で貧困と格差が広がり、生活に行き詰まった方からの相談が増えています。

ひとり親家庭への支援や生活困窮者対策、税金の徴収猶予などを毎議会で取り上げながら、困っている人に

寄り添い、だれ一人取り残さない地域社会を実現するために、これからも全力で頑張ります。



## 実現へひきつづき力尽くします

- ワクチン、PCR検査、医療と保健所の充実
- 加齢性難聴の補聴器購入費補助を
- シルバーパスの改善、バス路線の拡充
- 国保税値上げ中止・値下げを
- 学校統廃合計画は中止し、少人数学級を
- より良い給食と給食費の無償化
- 年金でも入れる特養ホーム
- UR・公社住宅の家賃値下げ

佐々木とも子さんと力を合わせて頑張ります!



都議会議員 池川友一

## 佐々木とも子プロフィール

●1955年東京都生まれ●和光大人文学部卒●山崎団地自治会自主防災会委員。町田市青少年健全育成忠生第五地区委員●2002年市議会議員初当選●総務常任委員会委員、議会運営委員会委員、南多摩斎場組合議会議員、第16期町田市議会改革調査特別委員会委員●山崎団地在住

活動地域:山崎1丁目、山崎団地2～8街区、シーアイハイツ、藤の台団地、本町田団地、玉川学園、東玉川学園、本町田（町田木曾団地、日東団地、みどりヶ丘、蛸ヶ丘、小田急住宅などを除く）、南大谷都営、南大谷（自動車教習所から北側）、山崎町（ダリア園から西側）、金井町

新しい町田

2022年1・2月 日本共産党町田地区委員会の見解を紹介します  
発行●新しい町田社 〒194-0022 町田市森野 3-7-46

こんにちは

町田市議会議員（5期）  
佐々木とも子  
です

## いつでも安心して頼れる心強い味方

— 市民のいのち・暮らしを守り、豊かな教育すすめる市政の実現を —

憲法まもり活かす政治を

日本共産党

@tomokoclub

ひきつづき  
全力!

- 市民病院と保健所の体制を強化
- いつでも、だれでも、無料で受けられる PCR検査の拡充
- 治療ができる臨時医療施設の設置や宿泊療養施設の増設
- 各種給付金や補償の拡充。医療機関への減収補填

# 佐々木とも子の **パワーの源**

みなもと

## その1 いつも市民の相談が出発点

毎日のように寄せられるご相談にお応えして、5期20年走り続けてきました。この4年間も、みなさんの身近な願い実現に頑張ってきました。

### ●「市政を語る集い」 4年間で34回 身近な願いはすぐ解決

市政について報告し、地域のみなさんのご要望を聞く活動を大切にしています。「団地の歩道の段差を直してほしい」「近所の桜が見えやすいようにしてほしい」など、どんな要求でも気軽に出していただき、解決のために頑張っています。



市にすぐに頼んで剪定。綺麗な桜が楽しめるように。



1センチの段差があった歩道は、すぐに直して歩きやすく。

### ●人から人へのつながりで、お困りごとが解決に

コロナ禍で「申請を出しても協力金が出ない」と困ったスナックのママさん。お客さんのタクシー運転手に話すと「佐々木さんに相談したらどうか」との話

になり、連絡をもらった私は池川都議と連携し、不備になっている理由を解明し訂正・提出すると、協力金が振り込まれました。



スナック経営者



タクシー運転手



佐々木市議



東京都

## その2 市民のみなさんと一緒に行動

みなさんの粘り強い行動から、いつもパワーをいただいています。一緒に声をあげれば政治は変わります！

### ●UR団地の一員 佐々木とも子 高齢者の家賃減額を延長

私も住む山崎団地や藤の台団地など的高齢者には、家賃減額制度の期限切れは死活問題です。私は2018年2月、団地のみなさんと共産党の山添拓参議院議員と一緒に、UR都市機構に「家賃の値上げをしないで」と要請。19年1月、国交省は、最大2万5000円の家賃減額を退去時まで延長

すると明言しました。団地のみなさんとの粘り強い運動が国の制度を変えさせました。



### ●親の目線で 佐々木とも子 学校の充実・改善に20年

「こんな暑い夏、子どもは大丈夫?」と学校に駆けつけ実態調査。「体育館にもエアコンを」と市民のみなさんと声をあげ、議会に意見書を提案して可決。池川都議とも連携し、都補助を受け全校での設置へ。学校改善に取り組んできた経験を、今後も活かします。

#### 市民の運動と力を合わせて 中学校全員給食も実施へ

薬師中・金井中は24年2学期から、山崎中は25年1学期から、南大谷中は25年2学期から実施予定です

### 本町田小、町田三小、南大谷小なくすな!

娘が忠生五小2年生だったときの統廃合計画に、私はPTA会長として直面。他校と共同して視察調査も行い、親たちと力を合わせて見直しを求めました。

いま計画されている統廃合は、市立小

中学校62校を41校に、3分の1も廃校するもの。南大谷小を町田六小に統合、本町田小と町田三小を本町田東小に統合。通学距離が1.5倍になる子も。市民不在の計画は、中止・見直しを求めます。

子どもを大切にしない政治のあり方を改めさせましょう!

## その3 いのちと暮らしへの熱い思い

市民のいのちと暮らしを守るのが、住民にもっとも身近な地方自治体の仕事です。その熱い思いが、私のパワーの源の一つです。

### ●台風災害でただちに現場に。市議会で質問 ハザードマップを改善、体育館にテント配置を実現

2019年の台風19号では、玉川学園で屋根が飛んだり、相原町で土砂災害が発生したりと深刻な被害が。災害救助法に基づき補償金が出るようになったので、被災者に申請の呼びかけや申請を手伝いました。その時「ハザードマップを見ても大雨時と地震時で避難場所が違うことがわからず苦労した」という声を聞きました。私はこの声を議会で示

し改善を要望。その結果、市は地震と水害でハザードマップを分けて作成しました。

避難所でのプライバシーが守られるよう、体育館に約50テントを配置することも実現。災害からいのちを守る町田へ引き続き全力をあげます。



### ●父親の介護で「聞こえ」の大切さを痛感！ 高すぎる補聴器の購入助成制度を提案

父は60歳前から「周りの会話が聞こえないので、疎外感を感じる」と友人との交流も嫌がるようになりました。障害認定される重度難聴でなくても、40dB程度の音が聞こえづらくなった時に補聴器をつけることで、生活の質が改善し、認知症予防になると言われています。高

齢者の補聴器購入に市から補助金を、との市民の請願が、昨年3月の市議会で不採択とされた後も、私は6月議会で改めて求めました。町田市でも聞こえのバリアフリーを実現しましょう!



#### 高齢者の補聴器購入費用の助成を求める請願（2021年3月議会）

共産	自民	公明	市民クラブ	保守の会	諸派
○	×	×	○	×	×（1人以外）